

【早大環境資源工学会の活動報告】

早大環境資源工学会は、会員相互の交流と親睦、会員と学科との連携を通じて、会員及び母校の発展に寄与することを、その目的としています。

この目的達成のため、昨年度（2022年度）は以下の事業を実施しました。

1. 総務委員会関係

(1) 会議等

- ・理事会の開催 4回（4/16、7/30、12/17、1/28）

(2) 早大環境資源工学会奨学基金

- ・2名の学部4年生に、各300,000円の奨学金給付

(3) 会費の管理

- ・年会費支払 19名
- ・新規終身会員 17名（内、60歳以上7名）

(4) 会計

- ・会計報告のとおり

2. 事業委員会関係

(1) 総会・懇親会の開催

- ・年次定例総会を6月25日(土)対面にて実施（懇親会は中止）。

(2) 環境資源稲門会活動

- ・早稲田学報にて活動状況を寄稿、またFacebookの環境資源稲門会のグループページにて活動状況などを公開

(3) 環境資源工学科に提携講座（環境資源と社会）を提供

- ・早大環境資源工学会と創造理工学部が正式に提携し、新井純氏(1981年卒)を非常勤講師、その他卒業生11名をゲストスピーカーとする提携講座「環境資源と社会」を実施

2022年度「環境資源と社会」日程			
対象：学部1年生			
日時：毎週月曜日、16:30～18:00			
教室：52号館302教室			
講義日	所属	氏名	講義題目
10月3日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかー2つの課題とこれまでの変遷
10月10日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかー低炭素化への挑戦
10月17日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかーエネルギーのブラック Swan を求めて
10月24日	資源総合システム社長	一木修 氏	太陽光発電システムの現状と展望～エネルギーとしての太陽光発電～
10月31日	ジオシステム社長	高杉真司 氏	地熱エネルギーの活用ーいかに地熱発電・地中熱を日本に普及させるか？！
11月7日	前双日アドバイザー、元JOGMEC審議役	神谷夏実 氏	めざせ、鉱山開発！
11月14日	元伊藤忠石油開発社長	田辺明生 氏	石油開発の現状と将来:その魅力
11月21日	日本エリーズマグネテックス社長	丹野秀昭 氏	資源循環型社会における「分ける」技術の役割
11月28日	武甲鉱業社長 元太平洋セメント執行役員	富永佳晃 氏	資源循環型社会におけるセメント産業の役割
12月5日	国際航業上級顧問	前川統一郎 氏	見えない巨大水脈 地下水の科学
12月12日	イー・アンド・イーソリューションズ社長	川上智 氏	技術者として見る環境事業
12月19日	TOTO顧問	成清雄一 氏	製造業の環境管理と経営
12月26日	日経広告社上席執行役員SDGs特命担当	馬場滋 氏	発想法による視点の広がり
1月16日	前西日本技術開発(株)東京事務所長	南坊進二 氏	留学、国際協力と専門性
1月23日	早稲田大学教授	大和田秀二	(全体まとめ)

3. 組織委員会関係

(1) 会員名簿整備活動

- ・新規卒業者、修了者の名簿への登録
- ・WEB 経由および学科事務所経由等の卒業生情報の名簿への反映
- ・振込用紙記載の住所と名簿記載住所との照合

(2) 会員の状況

2023 年 4 月 8 日現在

会員種別	一般会員	終身会員	合計
総会員	4,885 人	1,144 人	6,031 人
逝去者	797 人	223 人	1,020 人
総会員（逝去者除く）	4,088 人	923 人	5,011 人
住所不明	1,592 人	138 人	1,730 人
住所確認	2,496 人	785 人	3,281 人
住所不明率	39%	15%	35%

4. 広報委員会関係

(1) 会報の発行

- ・昭和 42 年 12 月 15 日に第 1 号を発行。現在まで毎年 1 回の発行を続けてきた。第 1 号から 2022（令和 4）年 5 月 10 日発行の第 57 号までの全てを、早大環境資源工学会のホームページにて公開

(2) メール配信サービス（メールマガジン）

- ・早大環境資源工学会の名簿にメールアドレスが記載されている会員に、6 月 6 日ならびに 23 日に年次定例総会開催の案内をメールで配信（約 2,300 通）

(3) ホームページの運営

- ・早大環境資源工学会のホームページを開設し、適宜情報をアップしている

(4) 学部卒業式のサポート

- ・3 月 26 日、学部学位授与式のサポートを実施